

# 平成29年度京都大学法学部 第3年次編入学試験問題

## 論 文

試験時間 13 : 30 ~ 16 : 00

### ※注意事項

- ・係員が試験開始の合図をするまで、問題を見ないこと。
- ・問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。
- ・問題は第一問と第二問からなり、全ての問題に解答すること。
- ・解答用紙は第一問と第二問別々であるので、間違えないように解答すること。
- ・問題用紙は下書きに使用してもよい。

## 第一問

民主主義国家において、通常の多数決（過半数の意思に従うもの）のみでは改正できないような憲法（硬性憲法）を定めることにはどのような意義と問題点があるか、できるだけ多角的に論じなさい。

## 第二問

現代民主国家では、「言論の自由」が基本権のひとつとして保障されているが、メディアによる報道について、現代の日本では「政治的に中立であるべきだ」という声も根強い。このことについて、あなたはどのように考えるか。現代におけるメディアの多様性や、民主政治におけるメディアの機能を踏まえ、また、そもそも「政治的に中立である」とはどういうことなのか（それは可能なのか）についても考察を加えながら、自由に論述しなさい。